



立地適正化計画について



五伝木隆幸 議員



どのように活用すべきか検討していく

質問一 立地適正化計画の意義と役割は。

二 立地適正化計画に関する国等からの予算・金融上の支援措置は。
三 空き家の増加や市街地の空洞化を防ぐための新たな選択肢としての計画策定の必要は。

答弁一（市長） 4つある。1つ目は、様々な都市機能と都市全域を見渡したマスタープランとなること、2つ目は、コンパクトなまちづくりと地域交通の再編を一体化したコンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり、3つ目は、将来のまちの在り方を見据えた公共施設の再配置や公的不動産を活用した民間機能の誘導、4つ目は、居住や民間施設の立地を緩やかにコントロールする、市街地空洞化防止のための新たな選

択肢として活用することである。
二 予算上としては、計画作成、

中心拠点・生活拠点の整備、空き家の除却や活用に対する支援等がある。金融上としては、都市機能の増進等に資する民間事業者向けの安定的な資金供給支援等がある。

三 持続可能なまちづくりに向けた財源確保のツールとしてなど、活用できる部分がある。どのように活用すべきか検討していく。
◎その他の質問 国保制度改革への対応について



西部地域のインフラ整備

漆畑 和司 議員



優先度や状況に応じ、計画的な整備を図る

質問一 鶴ヶ島日高線、県道・新川越越生線、鎌倉街道等の整備は。

二 一本松土地地区画整理事業と一本松地区地区整備計画の進捗状況について。

三 西少年サッカー場の研修棟の改築は。

四 新町中央広場への植樹は。

答弁一（市長・教育長） 都市計画道路鶴ヶ島日高線は、次期整備

路線の一つと考え、課題の抽出や解決に向けた作業に取り組む。新川越越生線は、沿線市町で新川越

越生線建設促進期成同盟会を結成し、県や国に要望活動を行ってきたい。28年度から県と同盟会構成市



一本松駅南側

町で研究会を発足し、事業費低減方策等を検討している。鎌倉街道は、29年度早々に日高市及び坂戸市と整備に向けた調整を行う。一本松五差路は、抜本的な改良に向け、県が中心となって検討している。上新田市内の通学路については、変更する場合は、PTAと協議の上、交通及び防犯上の安全の観点からも検討することになる。

二 ともに31年度の事業完了に向けて取り組む。

三（教育長） 現時点では、不具合の修繕による施設保全に努める。

四（市長） 地域住民とともに、親しまれる公園づくりに取り組み、計画的・段階的に整備していく。